



南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成29年 1月31日

校長 福田 俊彦

子供が子供をはぐくむ学校で

校長 福田 俊彦

2月は、今年度3度目の「ふれあい月間」です。「ふれあい月間」は、子供たちが自らよりよい生活を創っていく、教師とともに生活を向上させていく取り組みを重視する月です。そして、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる」ことを意識する月にもなります。

さて、南町小学校では、毎年、開進第二中学校の生徒会役員に来校してもらい、全校朝会の中で、開二中の「思いやり宣言」について話をしてもらっています。その経験を受け、今年度、南町小学校での「思いやり宣言」を代表委員会の話し合いをもとに、作成しました。子供たちの思いがひとつひとつの言葉に生きて働いています。掲載をさせていただきます。ご一読ください。

平成28年度 南町小学校「思いやり宣言」

開進第二中学校の思いやり宣言をもとに南町小学校の思いやり宣言をつくりました。年間テーマの「色とりどりの明るい笑顔あふれる学校」にするために、この思いやり宣言をたて、毎日南町小学校のみんなが楽しく明るい笑顔で学校に来てほしいという代表委員の願いもこめました。今年度が終わるまで少しですが、宣言したことを南町小学校の一人一人が達成できるように協力して、よりよい学校にしていきたいと思います。

[自分には]

- ・仲のよい友達でも、優しい言葉づかいをする。
- ・誰とでも話したり遊んだりする。

[友達には]

- ・相手の様子に気づいて声をかけたり助け合ったりする。
- ・友達だからこそ、まちがった行動を直し合う。

[みんなで]

- ・誰にでも相手の目を見て気持ちよくあいさつをする。
- ・一人一人の考えを大切にする。

「思いやり宣言」を作成することは目的ではありません。ここの示されている目標を行動目標として、一人一人が生活を創っていく経験を積み重ねていきます。積み重ねの先には、代表委員会が今年度のテーマとして掲げている「色とりどりの明るい笑顔あふれる学校」が待っているはずです。代表委員会の子供たちは、そのことを理解し、全校の子供たちに伝えています。子供が子供をはぐくむ学校としての姿をお届けできる場面となります。

保護者、地域の皆様には、南町小学校の思いやり宣言の内容にご理解をいただき、みんなの子供をみんな育てることに協力をお願いいたします。